



MITO MAIL NEWS

2020.9.7
014号



ホームページ Twitter

申1号「中編成ワンマン運転の実施について」に関する説明申し入れ(その1) 第2回 9/7開催

車側カメラ、車載ホームモニタシステム故障時は「車両交換」を基本!?中編成ワンマンで「輸送品質向上する」と言えるのか!?

1. 中編成ワンマン運転の実施を決定した目的と根拠を具体的に明らかにすること

継続議論・・・会社から、「全国交通量調査」2019年10月19(土)20(日)22(水)の小山～下館～友部の上下の乗務率
平均値と最大値が示される

- 組) ワンマン運転に必要な設備ならびに安全確保に必要な設備とは何か
- 会) ワンマン運転に必要な設備は、車載ホームモニタシステムである。安全確保に必要な設備とは、ホーム検知装置である

4. 列車運行における運転士業務と車掌業務について、考え方を具体的に明らかにすること。また、ワンマン運転における運転士業務・車掌業務を明らかにすること

回答：運転士や車掌の業務内容は、就業規則に示されているとおりである

- 組) 現行ツーマンでの運転士業務と車掌業務において、変わりはあるのか
- 会) 変わりはない。ワンマン運転時の取り扱いとして作業標準に定めてある通りである。
- 組) 車掌業務はないのか
- 会) 車掌が乗務する上での業務内容だ。ドア扱いはドアスイッチ。乗降は、モニターで確認している
- 組) 車掌は後方の確認をしているが、置き換わる担保は何か
- 会) ない。回送列車も後方確認を行っていない。

5. 中編成ワンマン運転における運行上の安全確保について、考え方を具体的に明らかにすること

回答：ワンマン運転に必要な設備を整備している

- 組) 車掌がいなくても発生する危険な要素はあるか
- 会) 1両に1つだったSOSボタンを2つに増設することで、乗務員に知らせる機会を増やした
- 組) 増やした根拠は
- 会) 何かあった時に、速やかにお客さまが発することができる機会を増やした。
- 組) 1つから2つに増設する必要があったので付けたのということの良いか
- 会) そうだ。ワンマン導入に伴う増設だ
- 組) 確認する
- 会) 運行上、列車衝突や脱線があってはならない。そのために、TE装置やEB装置等を整備してきている。もし、指令から運転士に無線連絡入れても応答がなかった場合に、最悪の状態を想定し会社として動いて行く。そのためにお客さまを車内で待たせることは致し方ないと考えている
- 組) 提案資料にある「お客さまが求める輸送サービスを提供する」とあるが、提供できるとは考えられない

6. 「お客さまの安全対策」の内容を具体的に明らかにするとともに、安全が確保され維持向上できるという理由と根拠を明確に示すこと

回答：ワンマンに必要な設備を整備している

- 組) お客さまの安全対策を具体的に教えていただきたい
- 会) 脱線・転覆・列車衝突などで死傷事故に直結するようなことは、設備を整えてきた。ホーム検知装置とホームモニタ装置で維持向上できると考えている。車内有事にはSOSボタン、防犯対策として防犯カメラを設置した。防犯カメラ補助装置とし車内モニタリング装置がある
- 組) 安全を確保するためのホーム検知装置などが壊れたら、どう安全を確保するのか
- 会) 状況によるが、カメラやモニターが見えないとなれば、車両交換やツーマンもある。基本は、車両交換で、お客さまには後続列車に乗ってもらう
- 組) 水戸線において、車載ホームモニタシステムの検証はしてきたのか
- 会) やってない。今後もやらない。東北線で朝昼夜の天候でカメラ調整をしてきた

次回交渉は、
9/11 13:30~



「安全第一・健康第一」で「安心・ゆとり・働き甲斐」のある
風通しの良い健全な職場を全組合員で創造しよう!

